



第10回 二輪草セミナー終了報告

2月26日(金)「二輪草セミナー」を開催し、35名の方が参加されました。講師として8階西病棟の外川恵子師長に『おひとりさまの介護奮闘記 ～看護師そして家族ゆえに～』と題して認知症のお父様の介護体験についてご講演頂きました。



認知症の兆しは50代後半からの奇異行動からだったそうです。はじめは精神的なものではないかとお母様に生活をゆだねていたこと、60代後半で問題行動にエスカレートした時にはストレスフルになってしまったことなど、交通事故にあわれて検査をしたこときっかけで認知症とわかるまでには長い道のりがあったようです。現在お父様はグループホームに入所されているようですが、10年もの間デイケアやショートステイを利用しながら在宅介護と仕事を両立されていた外川師長さんの心身の疲労は想像を絶するものだったのではないかと思います。また、そこにはご高齢のお母様の老老介護の実情もあったようでした。

講演会の中では、「老化現象と認知症の違い」や「認知症を知る10項目」などをスライドで示し、会場では何個当てはまるか参加された皆さんも数える場面が見られました。また、介護の知識や情報を得ることの大切さ、グループホーム選びのポイント、時間・人手・友達・職場の理解など自分を取り巻く環境にゆとりを持てること、自分の健康管理をすることなど介護生活の中で大切な項目をあげると共に、看護師ゆえに完璧な介護をしようと思うと追い込まれてしまうので、周りに感謝し連携を取ることが大切であるとメッセージを頂きました。

講演後の挨拶で上田看護部長が、医療に携わるものであるけれども、「もの分かりの悪い家族」になって下さいとお話されていました。医療人であるからこそもどかしく思うこと、介護職の大変さが理解できるからこそ我慢してしまうことなど様々な思いを受け止めた上で、ひとりの人間として愛する家族の介護に向き合っていくことの難しさを感じました。

育児と仕事の両立は浸透し様々な勤務形態で両立されている方もたくさんいますが、介護は制度があっても使いづらく職場に言い出しにくいという現状もあるようです。これからは育児から介護まで、仕事を辞めることなく働き続けるために何が必要かを皆さんと共に考えていきたいと思えます。

外川師長さんは介護が現在進行形である中、体験談としてお話しいただくには辛いお気持ちもあったのではないと思いますが、このようにご講演を頂きましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



活動報告書作成のお知らせ

二輪草センターでは設立から今年度までの2年半に及ぶ活動内容の報告と共に、サポートシステムや各種制度などをまとめた活動報告書を作成しました。

妊娠が分かった時や子育ての時、介護の時などに利用できる本学の制度や旭川市の情報など困った時に役立つ情報も掲載されています。また、現場からの応援メッセージでは、ロールモデルとなる先輩たちが家庭と仕事の両立の時期に何を考えどのように過ごして来たかなど参考になるメッセージもたくさんあります。この本が職員の皆様の手引書としてご利用いただければと思います。

ご覧になりたい方は二輪草センターまでご連絡ください。(センター前の掲示板にも置いてありますので、ご自由にお取り下さい。)



病児一時預かり室・バックアップナース利用状況 【2月20日～3月20日までの利用状況】

病児一時預かり室	登録者 34名	利用回数 1回
バックアップナース		稼働回数 5回
病後児保育室	登録者 38名	利用回数 5回

* 病児一時預かり室・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます。

◆ 今後の日程 ◆

- ◆ 4月 女性医師在籍状況調査
- ◆ 4月26日(月) 二輪草プラン推進委員会議

二輪草だより・その他のお問い合わせ

旭川医科大学 二輪草センター
(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510
北海道旭川市緑ヶ丘東2条丁1目1-1-1
TEL: 0166-69-3240 (サンニンヨレ)
FAX: 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

二輪草だより掲載記事は、ホームページからより詳しい内容をご覧いただけます。

「学内にはびこったかな 二輪草」(投稿者 祝二輪草活動報告出版)

「豆まきをする子の後から親拾う」(投稿者 掃除鬼ママ)

皆様からの投稿お待ちしております。(締め切り4月20日)

